

脳卒中連携ネットワークの進捗状況について

- ・ 香取海匝地域では、平成30年度から「脳卒中連携ネットワーク」をテーマに、当該疾病に係る医療機関が抱える課題解消に向けた取組を行っている。
「脳卒中連携ネットワーク全体イメージ図」（資料9-2）で示したもののうち、
 - ・ 「血栓溶解療法（t-PA）・血栓回収療法実績」
 - ・ 「脳卒中予後データ」
- について、令和6年度分データを報告する。

① 血栓溶解療法（t-PA）・血栓回収療法施行実績（資料9-3）

- ・ 旭中央病院提供データを基に事務局にて作成。
- ・ 脳梗塞による旭中央病院の入院患者数については、過去7年間では400～500人／年で概ね横ばい。
- ・ 血栓溶解療法（t-PA）施行実績の患者数及び割合については、概ね横ばいで推移。
- ・ 血栓回収療法施行実績については、患者数及び割合ともに増加傾向。令和5年度では、海匝管内で10%を超えたが、令和6年度では全体でも10%を超えた。

② 脳卒中予後データ（資料9-4）

- ・ 令和6年度における旭中央病院・イムス佐原リハビリテーション病院の退院患者データを基に事務局にて作成。
- ・ 脳卒中予後について、回復期リハビリ終了時では、脳梗塞の予後としては在宅復帰率の割合がやや増加し、施設の割合が減少した。脳卒中全体の予後としては、死亡がやや増加し、施設の割合が減少した。



血栓回収療法の施行実績は増加傾向であり、治療が適用されることで患者の予後が改善することを期待する。今後も脳卒中予後の改善に向けて情報共有を図っていくこととしたい。

血栓溶解療法 (t-PA) ・ 血栓回収療法施行実績

○ 旭中央病院脳梗塞入院患者数(人)

		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
合計		439	525	496	510	441	468	462
圏域内	海匝管内	257	312	289	301	241	253	257
	香取管内	88	103	110	109	112	121	105
圏域外		94	110	97	100	88	94	100

○ 血栓溶解療法 (t-PA) 施行実績

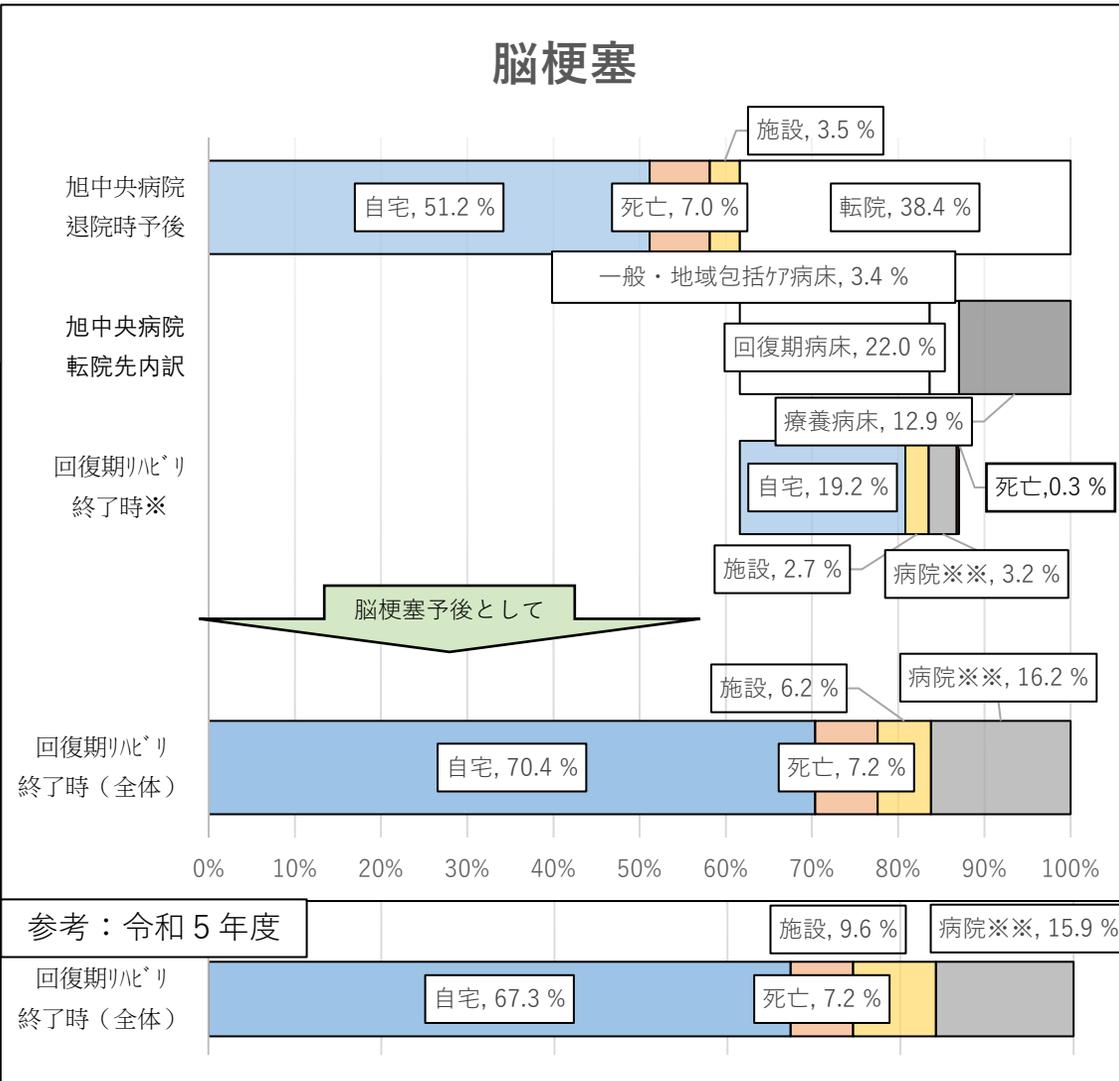
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
患者数 (人)	合計	25	27	28	32	27	17	20	
	圏域内	海匝管内	14	16	11	18	16	9	10
		香取管内	5	6	9	5	7	5	5
	圏域外	6	5	8	9	4	3	5	
割合 (%)	合計	5.7	5.1	5.6	6.3	6.1	3.6	4.3	
	圏域内	海匝管内	5.4	5.1	3.8	6.0	6.6	3.6	3.9
		香取管内	5.7	5.8	8.2	4.6	6.3	4.1	4.8
	圏域外	6.4	4.5	8.2	9.0	4.5	3.2	5.0	

○ 血栓回収療法施行実績

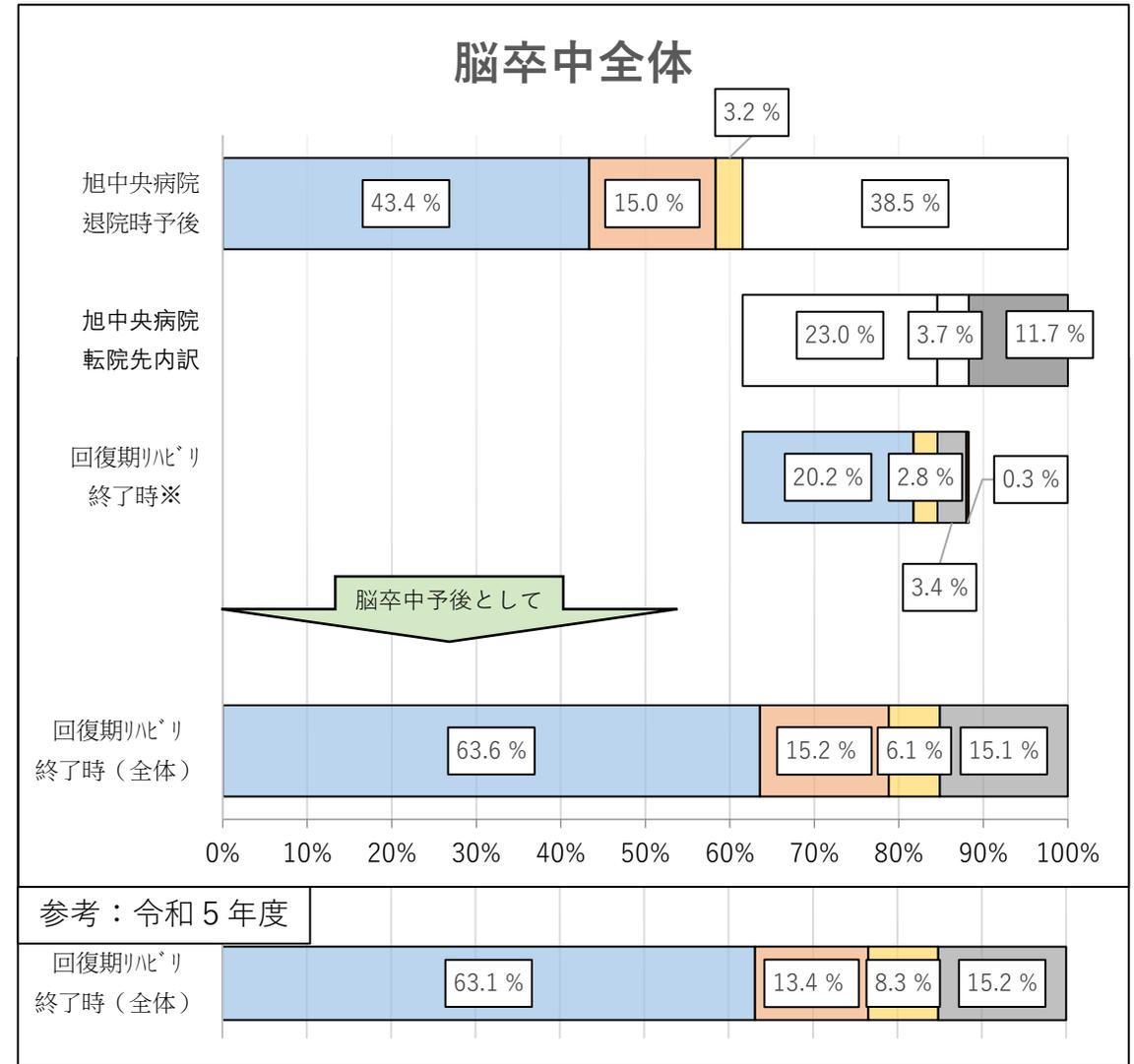
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
患者数 (人)	合計	10 (7)	23 (4)	26 (6)	31 (3)	38 (3)	43 (3)	66 (9)	
	圏域内	海匝管内	7 (5)	11 (1)	15 (3)	17 (2)	15 (1)	32 (2)	38 (5)
		香取管内	3 (2)	7 (3)	10 (3)	7 (0)	11 (0)	7 (0)	12 (2)
	圏域外	0 (0)	5 (0)	1 (0)	7 (1)	12 (2)	4 (1)	16 (2)	
割合 (%)	合計	2.3	4.4	5.2	6.1	8.6	9.2	14.3	
	圏域内	海匝管内	2.7	3.5	5.2	5.6	6.2	12.6	14.8
		香取管内	3.4	6.8	9.1	6.4	9.8	5.8	11.4
	圏域外	0.0	4.5	1.0	7.0	13.6	4.3	16.0	

※ () 内は、血栓溶解療法を併せて施行した患者数 (再掲)

脳梗塞



脳卒中全体



※ 回復期病床、一般・地域包括ケア病床をまとめた実績の内訳を示したもの（回復期病床予後を利用）
 ※※ 基本的には療養病床を持つ病院になるが、一部療養病床を持たない病院（急性期など）が含まれる。
 グラフ中の数字は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳と計が必ずしも一致しない。